

ヤンバルアワブキ

がくめい
学名 Meliosma oldhamii

かめい
科名 アワブキ

べつめい
別名 フシノハアワブキ、
リュウキュウアワブキ



くぶん
区分 もくほんるい
木本類

ぶんぶ
分布 やまぐちけん つしま あまみおおしま おきなわほんとう いりおもて
山口県、対馬、奄美大島、沖縄本島、西表
島等

はかたち
葉の形 ちょうだえんけい
長楕円形

はふち
葉の縁 きよし
鋸歯

はさき
葉の先 えいけい
鋭形

はしゅるい
葉の種類 きすう うじょうふくよう
奇数羽状複葉

はつきかた
葉の付方 ごせい
互生

はきぶ
葉の基部 くさびがた
くさび形

みしゅるい
実の種類 かくか
核果

はながくいろ
花・萼色 しろいろ
白色

せつめい
説明 山地の日光当たりの良い谷筋などに生育し、高さ 20m に達する落葉・半常緑の高木で、樹皮は褐色をしています。葉は小葉が 9枚から 15枚、葉先の半分に低い鋸歯があり、葉柄を含め長さ 15-30 cm です。枝先に大型の円錐花序の白い花が咲きます。実は核果で球形、径 5 mm ほどで熟すと赤くなります。